

## 第11回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」議事録

■開催日時：平成30年7月30日（月）10:00～12:00

■開催場所：メルパルク京都 6階 会議場C【貴船】  
（京都市下京区東洞院通七条下ル東塩小路町）

■委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 教授）  
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）  
鄭 小平（立命館大学経済学部経済学科 教授）欠席  
箱石 憲昭（国立研究開発法人土木研究所 水工研究グループ長）  
◎深川良一（立命館大学理工学部環境都市工学科 教授）  
◎印は委員長（50音順・敬称略）

■オブザーバー： 滋賀県・京都府・大阪府・伊賀市・関西電力（株）  
大阪広域水道企業団・阪神水道企業団

■議事概要：

委員会は委員5名中4名の出席により、事務局から委員会規約の改正、天ヶ瀬ダム再開事業、大戸川ダム建設事業、川上ダム建設事業、丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について、事業概要、事業進捗状況、コスト縮減項目等の説明を行い、各委員より意見及び助言を頂いた。

■規約の改正について

・委員名簿の変更に伴う規約の変更について説明を行い、提案通り了承された。

■天ヶ瀬ダム再開事業について

（委員の主な意見）

1. 事業概要 （意見なし）
2. 事業進捗状況
  - ・再開事業の効果を再確認し、無理のない範囲で可能な限り早期の効果発現を目指すこと。
3. コスト増加要素 （意見なし）
4. コスト縮減実施内容
  - ・減勢地部の大断面トンネルの掘削施工においては、コスト縮減だけでなく安全にも留意すること。
  - ・ゲート室部上屋の見直しについては、機器交換など将来の維持管理等の作業に影響を与えないように検討すること。
5. その他の意見
  - ・完成後に減勢池部のトンネル内や下流河道の状況をモニタリングする方法について、今のうちから検討すること。

■大戸川ダム建設事業について

(委員の主な意見)

1. 事業概要 (意見なし)
2. 事業の進捗状況 (意見なし)
3. コスト増加項目 (意見なし)
4. コスト縮減項目 (意見なし)
5. その他の意見
  - ・平常時に湛水しない流水型ダムとしての特徴を踏まえ、将来の維持管理に向けて付替道路、現道の活用方法について検討しておき、手戻りがないようにすること。

■川上ダム建設事業について

(委員の主な意見)

1. 事業概要 (意見なし)
2. 事業の進捗状況 (意見なし)
3. コスト増加項目 (意見なし)
4. コスト縮減項目
  - ・ダム本体工事が本格化することから総事業費監理について留意すること。不确实要因に伴うコスト上昇の最小化と、工事範囲の見直しや新技術新工法等の活用によるコスト低減の両面から事業の適正化を進めること。
  - ・工事の品質や、必要なダム機能が十分確保される事を確認してコスト縮減の検討を行うこと。
5. その他の意見 (意見なし)

■丹生ダム建設事業の廃止に伴う整備について

(委員の主な意見)

1. 事業概要 (意見なし)
2. 事業の進捗状況 (意見なし)
3. コスト縮減項目 (意見なし)
4. その他の意見
  - ・引き続き事業を進めること。

(以上)